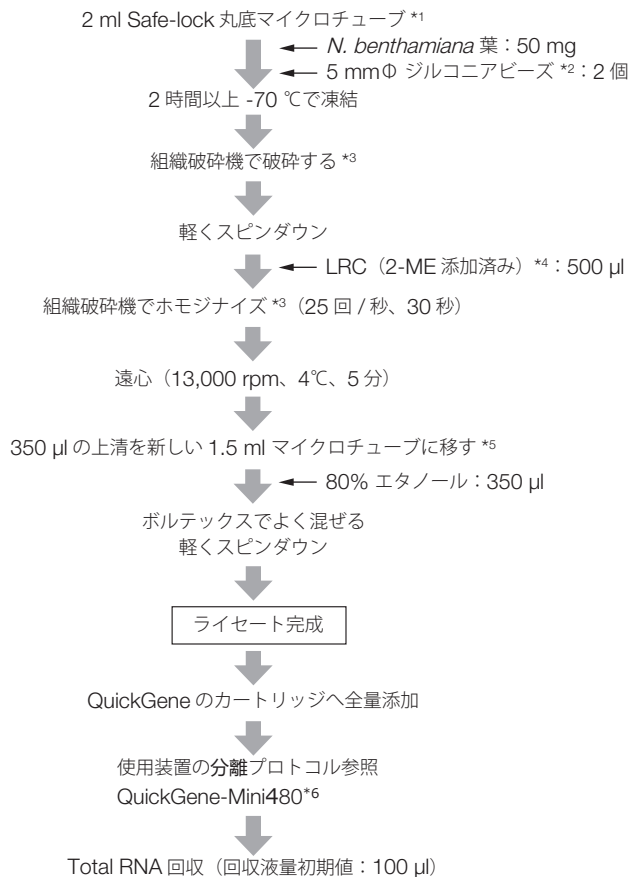


タバコ (*N.benthamiana*) 葉からの total RNA分離

プロトコル



*1 エッペンドルフ社 (Eppendorf Co.Ltd.)

*2 ニッカー社 (NIKKATO Co.Ltd.)

*3 ティッシュライザー (Tissue-Lyser) (Mixer MIH 3000 (QIAGEN Co.Ltd.)) 組織破砕機のホルダーを、前もって -20°C に冷却してください。破碎法については、組織破砕機のマニュアルに従ってください。

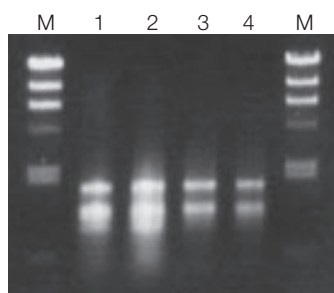
*4 1 ml の LRC 当たり 10 μl の 2-ME を加えてください。

*5 繊維がいくら混じっていても結果に影響はありません。

*6 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

電気泳動図



電気泳動条件
 0.8% アガロースゲル
 TAE 緩衝液
 2 μl のサンプル / ウエル

M : λ -Hind III (100 ng)
 1 : コムギ葉 (*gramineae*)
 2 : オオムギ葉 (*gramineae*)
 3 : *Chenopodium quinoa* 葉 (*Chenopodiaceae*)
 4 : *Nicotiana benthamiana* 葉 (*solanaceae*)

Total RNA の収量

<i>N. benthamiana</i> 葉	2.64 μg
-------------------------	---------

タンパク質の混入 : A260/280

<i>N. benthamiana</i> 葉	1.95
-------------------------	------

カオトロピック塩の混入 : A260/230

データなし

その他

データなし

共通プロトコルサンプル

オオムギ葉、*C. quinoa* 葉、コムギ葉